



立五中だより

令和 7年 6月発行

立川市立立川第五中学校

www.tachikawa-edu.jp/jh05/

教育目標 自ら進んで勉強する人になろう あたたかい思いやりのある人になろう
よいことは進んで実行する人になろう 心身ともに健康な人になろう

試される力

校長 渋谷 里美

本来5月末に実施される体育祭が天候の関係で、6月4日に延期になりました。前日準備の日も雨がなかなか上がらず、祈るような気持ちで空を眺めていました。体育祭当日は2時間遅れで開催することを決めていましたが、校庭の整備に朝早くから多くの係生徒が登校し、割り当てられた作業を黙々と取り組んでくれていました。先月もお伝えしましたが、市の担当の方も大勢来校してくださり、早い時間から整備に当たってくださいました。多くの方の力をお借りして、取り組める最善を尽くして校庭整備を終了させ、後は少しでもぬかるみが乾くことを、再度祈りながら空を仰ぎました。その甲斐あって、一般生徒の登校時にはなんとか間に合いました。



ぬかるんだ校庭 砂入れ後ライン引き テント設営 入退場門設営 クラス旗設置

体育の授業や学年練習の時間、放課後練習を通して、様々な競技に取り組んできましたが、天候にはあらがえず、気持ちを切り替えながらの体育祭となりました。ただ、その中で体育祭実行委員として、また、各委員会の係生徒達は与えられた環境の中で、自分の役割を率先して行う姿が印象的でした。前向きに取り組む姿勢は今持てる力を試されているのだと思います。閉会の挨拶でも伝えましたが、生徒の一生懸命取り組む姿は本当に「カッコイイ」です。キラキラ輝いています。平日にもかかわらず多くの保護者の方々にご参観いただけたことも、嬉しい限りでした。生徒達にとっては勝負ですので、嬉しい思いや悔しい思いを感じたと思います。行事とは、クラスや学年のまとまりを感じ、それぞれに一段階成長した姿を見られることにあると思います。自分のためという考えから、誰かのためという思いに変わったときが、さらなる成長へとつながっていくのだと思います。体育祭が終わった時に、多くの生徒が見せてくれた満足感のある表情が、勝敗ではない爽やかな風を吹かせてくれました。素敵な体育祭をありがとう。2週間余り、それを支えてくださった保護者の方々にも感謝申し上げます。



行進



台風の目 1年



大縄飛び 2年



大むかで 3年



給食後の風景 全員リレースタート

バトンパス

終了後片付け

片付け2

延期になったことでお昼は給食がありました。椅子は校庭に置いたままなので、終了後どんな感じで食べているのかをのぞきに行ったら、工夫して食べていた様子が見られました。2枚目の写真は午後の全員リレーのスタート時の緊張の一瞬です。バトンパスをした後は、安心するのか表情は穏やかになる生徒が多かったです。右の2枚の写真は終了後保護者の方がテントの片付けを手伝って下さいました。今年度から近隣の小学校や、終了している中学校から生徒見学席にテントをお借りし対応しました。日差しから守られながらの応援ができたことは良かったです。テントは20張り近くあったので、準備片付け時の保護者の方のご協力に感謝申し上げます。

立川市民科 ～ 砂川楽 ～

6月27日（金）今年度も立川市民科の授業の一環で、砂川楽として1年生に地域で活動している団体の方においでいただき、講師から様々な活動を直接学ばせていただきました。グループに分かれ、講師の方々をご案内する係生徒はやや緊張していましたが、約2時間の活動を通してすっかり打ち解けたようでした。最後には代表生徒による挨拶とお礼の言葉を伝えていました。



講師の先生方

気功

輪投げ

ちぎり絵 1

ちぎり絵 2

書道



手話

将棋

認知症

健康体操

水彩画

最後の挨拶



6月26日（木）最近の大気的不安定な状態の中、夕方薄暗くなった所で、偶然にも虹が出ているのを発見しました。校長室から見たものの、全体像が見えず、職員室でも先生方が窓の外を眺めていました。折しも警備さんが校内を巡回する時間に遭遇し、見回りと併せてよく見られる場所から、皆さんにご紹介するために撮影しました。いいことが起こりますようにとの願いを込めて。